

**経口抗凝固薬に関する
患者実態調査
結果報告書**

平成25年5月24日

株式会社QLife(キューライフ)

調査の背景

かつては日本人の死因のトップだった脳卒中。その中でも心房細動による脳梗塞(心原性脳塞栓症)は重症化しやすいことから、予防が重要視されている。予防の中心にあった経口抗凝固薬は、半世紀以上にわたり、ワルファリンが占めていたが、近年、新規経口抗凝固薬の登場により、選択肢が広がってきている。そこで、現在ワルファリンを服用している患者60名と新規経口抗凝固薬を服用している患者60名の計120名を対象に、経口抗凝固療法の実状について、国立病院機構九州医療センター 脳血管センター 脳血管内科科長 矢坂正弘先生監修のもと、意識調査を行った。

主な結論

経口抗凝固療法を行う患者は、経口抗凝固薬に対して、副作用や費用面よりも「食べ物の制限が少ない」などのQOLを重視していることが分かった。新規経口抗凝固薬について、薬価の高さに躊躇する患者が一部いるものの、「食事制限が無い」「血液検査が無い」など、負担が軽減され、QOLを高められることは患者にとって大きなメリットとなっている。患者にとって経口抗凝固療法は長期的かつ継続的な薬剤服用が必要となるため、ワルファリンと同等、もしくはそれ以上の有効性、安全性をもち、かつ利便性も高いというメリットを持つ新規経口抗凝固薬を希望する声は、今後ますます増加するものと思われる。

また、今回の調査では、医療者による情報提供の差も浮き彫りになった。他の治療選択肢の説明について、ワルファリン服用者で約半数が「全く説明を受けなかった」という実態は、ワルファリンのみが適応とされるケースがあることを加味しても、ワルファリンに慣れ親しんでいる医師が、新しい経口抗凝固薬についての情報収集や患者への説明を十分行っていないという可能性を示唆している。これについては、製薬メーカーはもちろん、学会などからも医師への十分な情報提供が必要と考えられる。

結論の概要

1) 約3人に1人が経口抗凝固薬を変更。変更した半数以上が満足している

「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」もしくは「新規経口抗凝固薬⇒新規経口抗凝固薬」への変更が58.3%、「新規経口抗凝固薬⇒ワルファリン」への変更が13.3%だった。変更理由は「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」が「医師の勧め」や「食事制限が無い・納豆が食べられる」「血液検査が無い」、「新規経口抗凝固薬⇒新規経口抗凝固薬」が「1日1回で済む」、「新規経口抗凝固薬⇒ワルファリン」は「価格」が主な理由だった。また、ワルファリンに変更した患者の50.0%、新規経口抗凝固薬に変更した患者の60.0%が「とても満足」「やや満足」と回答した。

2) 「治療選択肢についての説明を受けたかどうか」で、「詳細な説明を受けた」が過半数の新規経口抗凝固薬服用者と、「全く説明を受けなかった」が約半数のワルファリン服用者に情報格差が生じている

新規経口抗凝固薬が登場し、選択肢が拡大した、服用期間3年未満の患者について、新規経口抗凝固薬服用者は過半数が「詳細に説明を受けた」と回答している一方、ワルファリン服用者は46.7%が「全く説明を受けなかった」と回答。患者が受け取る治療選択肢の情報に大きな差が生じている。

3) 経口抗凝固薬の選択で効果以外では、QOLが高められることを最も重視している。

過半数の患者が効果以外で「制限される食べ物の種類が少ない」ことを最も重視している。次いで、「副作用が少ない」「費用が安い」「1日に服用する回数が少ない」ことを重視。

4) 病気や薬の情報は「かかりつけの医師・薬剤師」からの情報を重視する

99.2%が「かかりつけの医師」からの情報を重視している。「かかりつけの薬局・薬剤師」も4人に3人が重視していると回答。そのほか、病院内で配布する冊子やポスター、インターネットの記事や口コミなどが参考にされている。

5) ワルファリン、新規経口抗凝固薬ともに13.3%が薬を時々飲むことを忘れてしまう

理由は外食、外泊などや、食事の時間が不規則で、夕方もしくは夜の服用を忘れてしまう等。

【調査実施概要】

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象: 現在、経口抗凝固薬を服用している患者
- (2) 有効回収数: 120人(ワルファリン服用者60名、新規経口抗凝固薬服用者60名)
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2013/4/8~2013/4/14

▼有効回答者の属性

(1) 性・年代:

	男性	女性	n
40代	10	2	12
50代	35	2	37
60代	41	4	45
70代	23	2	25
80代	1	0	1
計	110	10	120

	男性	女性	%
40代	9.1%	20.0%	10.0%
50代	31.8%	20.0%	30.8%
60代	37.3%	40.0%	37.5%
70代	20.9%	20.0%	20.8%
80代	0.9%	0.0%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 居住地

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
8.3%	0.8%	0.8%	3.3%	1.7%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
4.2%	10.0%	12.5%	6.7%	2.5%	0.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.8%
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
0.0%	1.7%	6.7%	1.7%	1.7%	5.0%	6.7%	5.0%	0.0%	0.8%
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
0.0%	0.0%	3.3%	1.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
1.7%	1.7%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%			

(2) 現在服用中の経口抗凝固薬ならびに服用期間

	n	%
ワルファリン(ワーファリン)	60	50.0%
新規経口抗凝固薬	60	50.0%
総計	120	100.0%

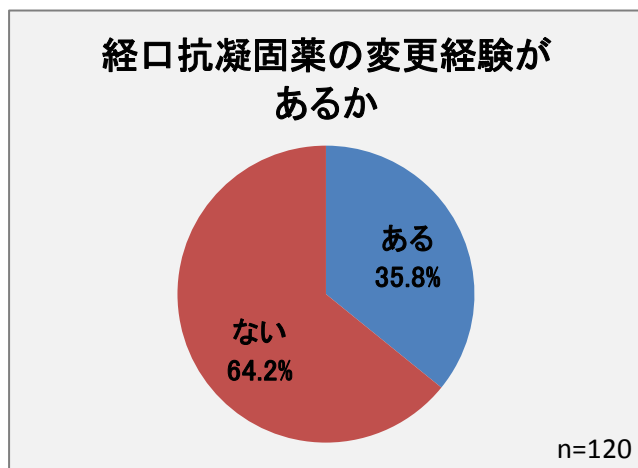
	ワルファリン (ワーファリン)を 服用 (n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	%
半年未満	3	20	23	5.0%	33.3%	19.2%
半年～1年未満	2	15	17	3.3%	25.0%	14.2%
1年～2年未満	5	20	25	8.3%	33.3%	20.8%
2年～3年未満	6	5	11	10.0%	8.3%	9.2%
3年～5年未満	13	0	13	21.7%	0.0%	10.8%
5年～10年未満	18	0	18	30.0%	0.0%	15.0%
10年以上	13	0	13	21.7%	0.0%	10.8%
総計	60	60	120	100.0%	100.0%	100.0%

【Q1】服用している経口抗凝固薬を変更したことがありますか。

約3人に1人が経口抗凝固薬を変更している。薬剤別の内訳は、「新規経口抗凝固薬⇒ワルファリン」への変更が13.3%、「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」もしくは「新規経口抗凝固薬⇒新規経口抗凝固薬」への変更が58.3%だった。

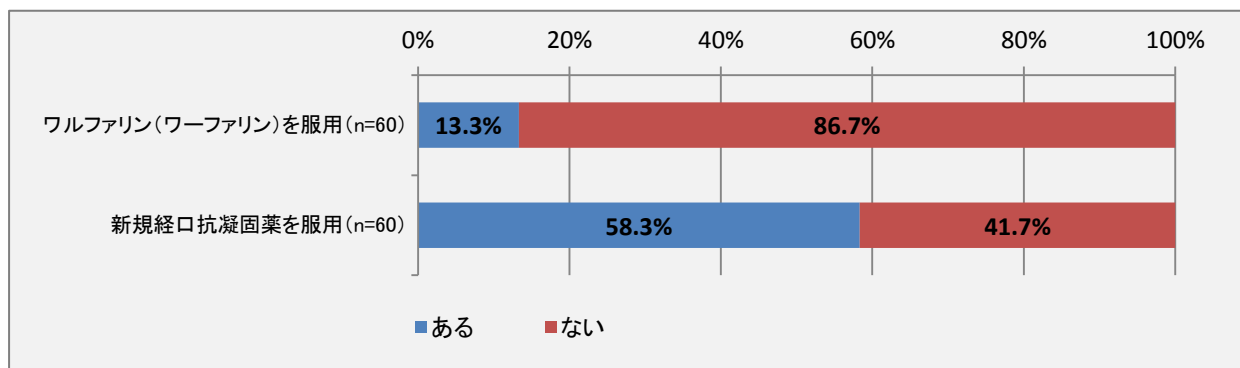
n=120

	n	%
ある	43	35.8%
ない	77	64.2%
総計	120	100.0%



薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン)を服用 (n=60)	新規経口抗 凝固薬を服 用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン)を服用 (n=60)	新規経口抗 凝固薬を服 用 (n=60)	%
ある	8	35	43	13.3%	58.3%	35.8%
ない	52	25	77	86.7%	41.7%	64.2%
計	60	60	120	86.7%	41.7%	64.2%

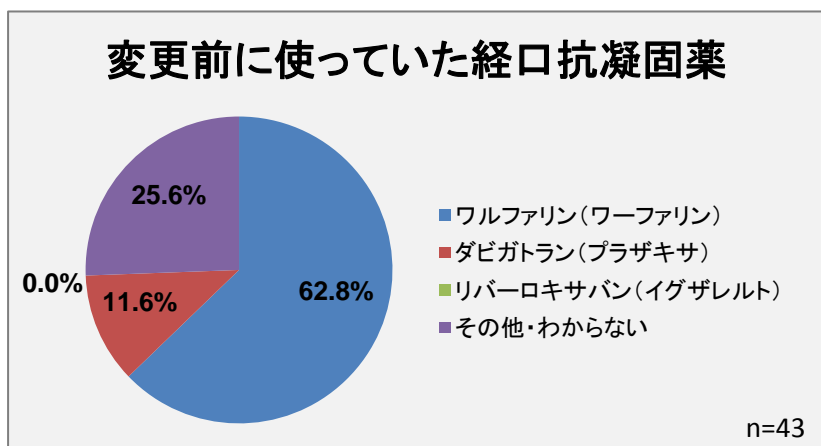


【Q2】変更前に使っていた経口抗凝固薬の名前を教えてください。
(Q1で、「ある」と答えた方のみ回答)

経口抗凝固薬の変更について、全43例のうち、その他・分からないと回答した例を除くと、「ダビガトラン⇒ワルファリン」が2例、「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」が27例、「ダビガトラン⇒新規経口抗凝固薬」が3例となった。

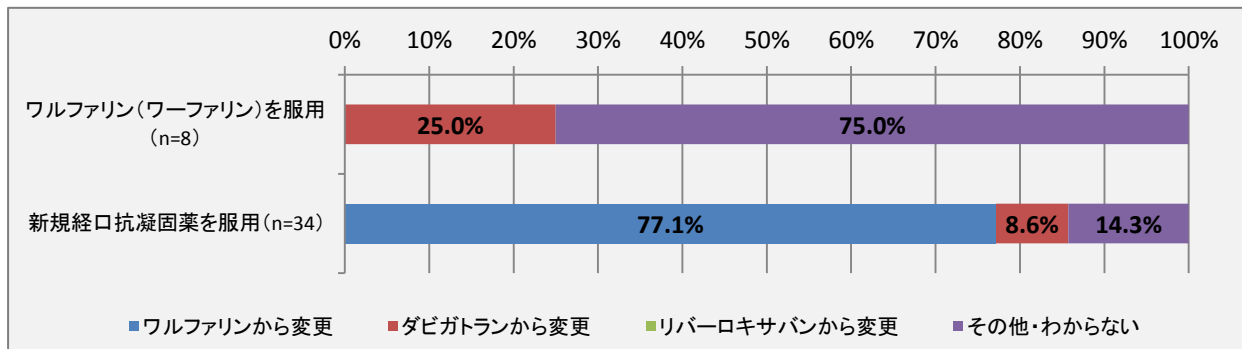
n=43

	n	%
ワルファリン(ワーファリン)	27	62.8%
ダビガトラン(プラザキサ)	5	11.6%
リバーロキサバン(イグザレルト)	0	0.0%
その他・わからない	11	25.6%
総計	43	100.0%



薬剤別

	ワルファリン(ワーファリン)を服用(n=8)	新規経口抗凝固薬を服用(n=34)	n	ワルファリン(ワーファリン)を服用(n=8)	新規経口抗凝固薬を服用(n=34)	%
ワルファリン(ワーファリン)	0	27	27	0.0%	77.1%	62.8%
ダビガトラン(プラザキサ)	2	3	5	25.0%	8.6%	11.6%
リバーロキサバン(イグザレルト)	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他・わからない	6	5	11	75.0%	14.3%	25.6%
総計	8	35	43	100.0%	100.0%	100.0%



【Q3】服用する薬を変更した理由について、詳細にお教えてください。
(Q1で、「ある」と答えた方のみ回答)

「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」への変更理由について、「医師の勧め」や「食事制限の無い」「血液検査が無い」を挙げる回答が多く見られた一方、「新規経口抗凝固薬⇒ワルファリン」に関しては価格面が変更理由だった。以下に回答の一部を記載する。

◆ワルファリン⇒ダビガトラン

- ・プラザキサであれば入院期間を1日短縮できるとのことだったため(男性・40代)
- ・食物の制限がなくなるため(男性・60代)
- ・病院の医師のすすめ。食事制限や血液検査等が楽になると考えられた(男性・50代)
- ・血液検査が不要になるから(男性・40代)
- ・食物摂取の制限がない。朝晩二回の服用で、効果が安定している(男性・50代)
- ・納豆を食べれる(男性・50代)
- ・飲む量の調整が難しい(男性・50代)
- ・食べ物の制限が無い。定期的な血液検査が不要(男性・70代)

◆ワルファリン⇒リバーロキサバン

- ・医者からの指示(男性・50代)
- ・納豆等の食事制限
- ・その都度血液検査が必要で、食べ物の制限もあったため(男性・60代)

◆ダビガトラン⇒リバーロキサバン

- ・夕の分を飲み忘れる(男性・60代)
- ・カプセルが飲みにくくまた、下痢をするため(男性・80代)

◆ダビガトラン⇒ワルファリン

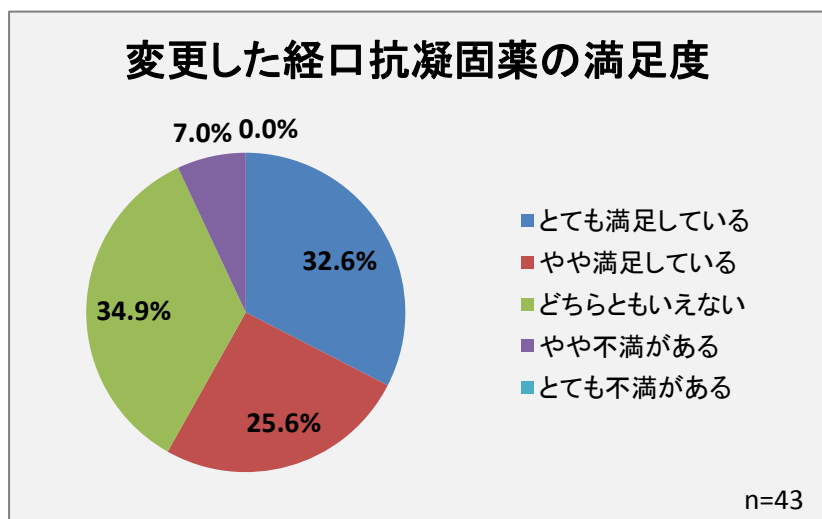
- ・ずっとワルファリンで、納豆菌の影響がないダビガトランに変更したが値段が高かったので元に戻した(女性・50代)

【Q4】服用する経口抗凝固薬を変更したことに、どの程度満足していますか。
(Q1で、「ある」と答えた方のみ回答)

経口抗凝固薬の変更による満足度はワルファリン、新規経口抗凝固薬ともに半数以上が「とても満足」「やや満足」と回答。「とても満足」が新規経口抗凝固薬において、若干ワルファリンを上回っている。

n=43

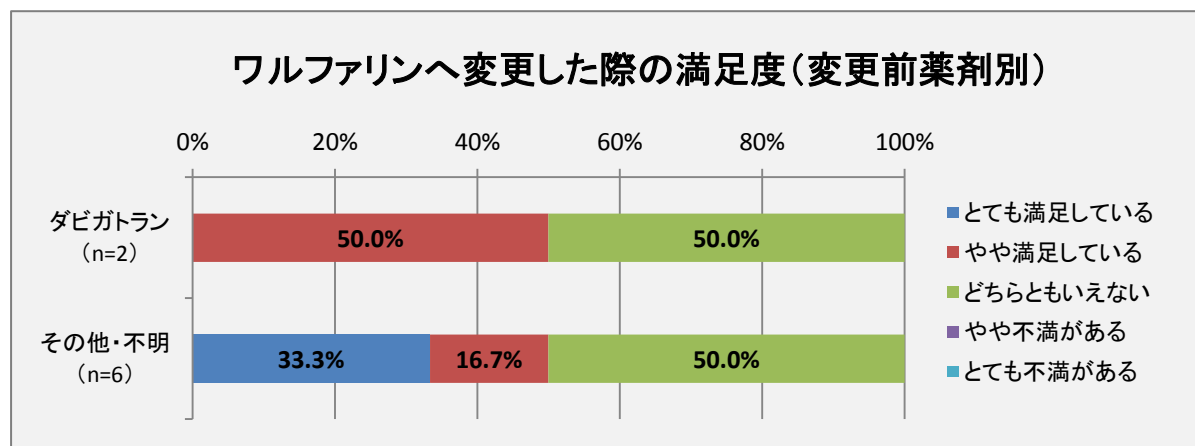
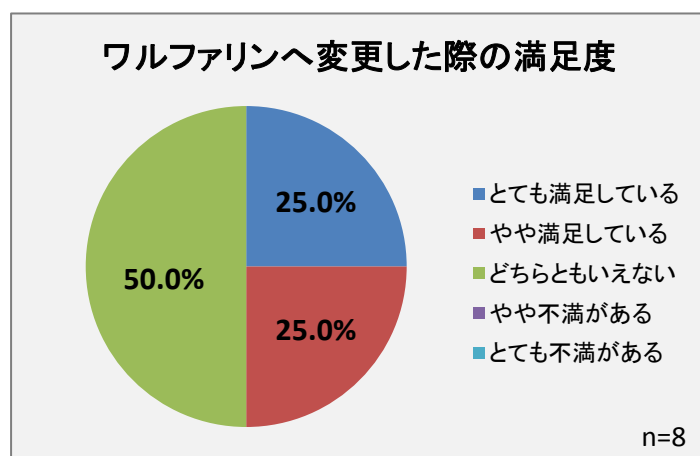
	n	%
とても満足している	14	32.6%
やや満足している	11	25.6%
どちらともいえない	15	34.9%
やや不満がある	3	7.0%
とても不満がある	0	0.0%
総計	43	100.0%



【Q4】服用する経口抗凝固薬を変更したことに、どの程度満足していますか。

現在ワルファリン(ワーファリン)使用 (n=8)

	変更前の経口抗凝固薬			変更前の経口抗凝固薬		
	ダビガトラン (n=2)	その他・不明 (n=6)	n	ダビガトラン (n=2)	その他・不明 (n=6)	%
とても満足している	0	2	2	0.0%	33.3%	25.0%
やや満足している	1	1	2	50.0%	16.7%	25.0%
どちらともいえない	1	3	4	50.0%	50.0%	50.0%
やや不満がある	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
とても不満がある	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
総計	2	6	8	100.0%	100.0%	100.0%

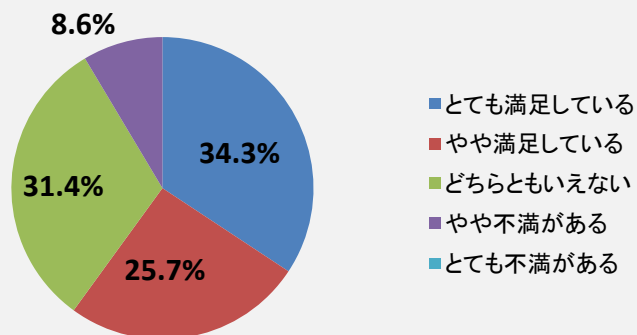


【Q4】服用する経口抗凝固薬を変更したことに、どの程度満足していますか。

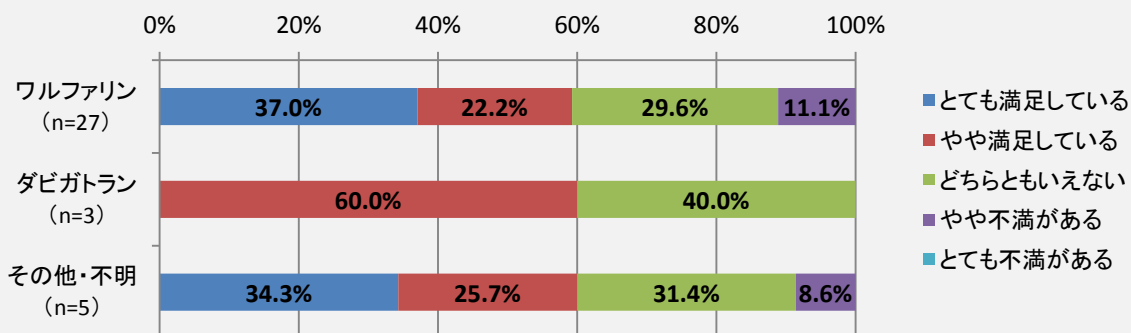
現在新規経口抗凝固薬使用 (n=35)

	変更前の経口抗凝固薬				変更前の経口抗凝固薬			
	ワルファリン (n=27)	ダビガトラン (n=3)	その他・ 不明 (n=5)	n	ワルファリン (n=27)	ダビガトラン (n=3)	その他・ 不明 (n=5)	n
とても満足している	10	2	0	12	37.0%	0.0%	34.3%	34.3%
やや満足している	6	0	3	9	22.2%	60.0%	25.7%	25.7%
どちらともいえない	8	1	2	11	29.6%	40.0%	31.4%	31.4%
やや不満がある	3	0	0	3	11.1%	0.0%	8.6%	8.6%
とても不満がある	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	27	3	5	35	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

新規経口抗凝固薬へ変更した際の満足度



新規経口抗凝固薬へ変更した際の満足度(変更前薬剤別)



【Q5】服用する薬を変更したことで、「薬の効果」以外で良かった／便利になった点はありますか。
(Q1で、「ある」と答えた方のみ回答)

変更理由と同じく、「ワルファリン⇒新規経口抗凝固薬」では、「食事制限が無い」「血液検査が無い」を挙げる回答が多く見られ、「新規経口抗凝固薬⇒ワルファリン」に関しては価格面が挙がっていた。また、新規経口抗凝固薬どうしの変更である「ダビガトラン⇒リバーロキサバン」では「1日1回で済む」ことを挙げた意見がみられた。以下に回答の一部を記載する。

◆ワルファリン⇒ダビガトラン

- ・納豆が食べられるようになった。(男性・60代)
- ・納豆やほうれん草のような緑黄色野菜の制限がなくなった(男性・60代)
- ・食べる食品を気にしなくなった(男性・60代)
- ・血液検査が不要となった(男性・50代)
- ・毎日二回の飲用で生活のリズムがとれるようになった。食後三回より飲み忘れが減った(男性・60代)

◆ワルファリン⇒リバーロキサバン

- ・錠数が少なくなった(男性・60代)
- ・納豆青汁が食べられるようになった(男性・60代)

◆ダビガトラン⇒リバーロキサバン

- ・1日1回で済むようになったうえ、錠剤なので飲みやすくなった。(男性・80代)

◆ダビガトラン⇒ワルファリン

- ・長く続けるので値段が安く済むのは助かります(女性・50代)

【Q6】服用する薬を変更したことで、「薬の効果」以外で不満／不便になった点はありますか。
(Q1で、「ある」と答えた方のみ回答)

新規経口抗凝固薬については、薬価の高さを指摘する回答に加え、ダビガトランについては、胃腸への負担や服用回数が増えたことなどが挙がっていた。リバーロキサバンについては、新薬のための14日間処方を挙げ、長期処方に期待を寄せる回答が見られた。ワルファリンについては、食品の制限についての回答があった。以下に回答の一部を記載する。

◆ワルファリン⇒ダビガトラン

- ・水を多く服用しても服用後胃につかえるような状態になり、胃もたれがするときがたまにあり不快感がある(男性・40代)
- ・一日2回がわずらわしい(男性・50代)
- ・薬価が高い(男性・50代)
- ・湿気を嫌うことで防湿の袋に入れて持ち歩いているので少し不自由を感じる(男性・50代)

◆ワルファリン⇒リバーロキサバン

- ・薬代が高くなった(男性・50代)
- ・通院回数が多くなり、薬代が高くなった。(男性・50代)
- ・現在二週間しか処方してもらえないのが最大の欠点。五月からは長い処方が出ると聞いて期待している(男性・50代)

◆ダビガトラン⇒リバーロキサバン

- ・通院回数が多くなった(男性・60代)

◆ダビガトラン⇒ワルファリン

- ・納豆など食べられない食品があるので面倒です(女性・50代)

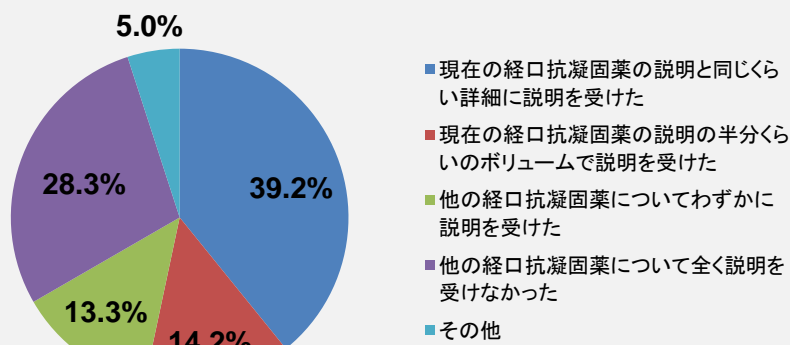
【Q7】経口抗凝固薬の服用を始めるにあたり、医師から他の経口抗凝固薬についての説明はありましたか。

約7割の患者が経口抗凝固薬の処方にあたり、他の選択肢についての説明を受けていることが分かった。薬剤別では、新規経口抗凝固薬服用者は80%以上が説明を受けたと回答した一方、ワルファリン服用者は約半数が「全く説明を受けなかった」と回答。新規経口抗凝固薬が登場し、選択肢が拡大した、服用期間3年未満に絞っても、新規経口抗凝固薬服用者は過半数が「詳細に説明を受けた」と回答している一方、ワルファリン服用者は46.7%が「全く説明を受けなかった」と回答。患者が受け取る治療選択肢の情報に大きな差が生じている。

n=120

	n	%
現在の経口抗凝固薬の説明と同じくらい詳細に説明を受けた	47	39.2%
現在の経口抗凝固薬の説明の半分くらいのボリュームで説明を受けた	17	14.2%
他の経口抗凝固薬についてわずかに説明を受けた	16	13.3%
他の経口抗凝固薬について全く説明を受けなかった	34	28.3%
その他	6	5.0%
総計	120	100.0%

他の経口抗凝固薬について説明あったか



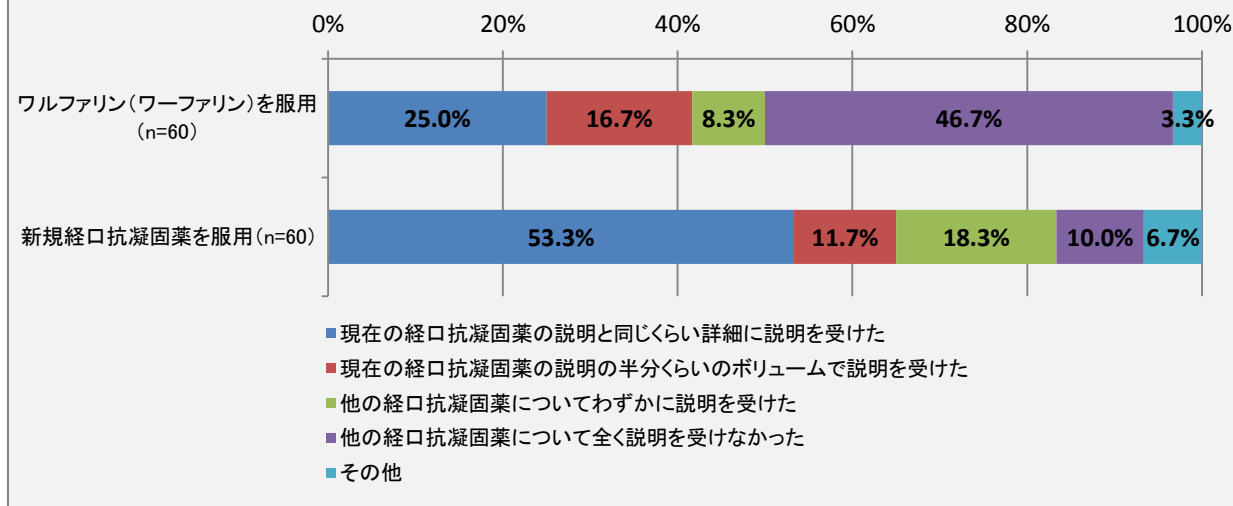
n=120

【Q7】経口抗凝固薬の服用を始めるにあたり、医師から他の経口抗凝固薬についての説明はありましたか。

薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	%
現在の経口抗凝固薬の説明と 同じくらい詳細に説明を受けた	15	32	47	25.0%	53.3%	39.2%
現在の経口抗凝固薬の説明の 半分くらいのボリュームで説明を受けた	10	7	17	16.7%	11.7%	14.2%
他の経口抗凝固薬についてわずかに 説明を受けた	5	11	16	8.3%	18.3%	13.3%
他の経口抗凝固薬について全く説明を 受けなかった	28	6	34	46.7%	10.0%	28.3%
その他	2	4	6	3.3%	6.7%	5.0%
総計	60	60	120	100.0%	100.0%	100.0%

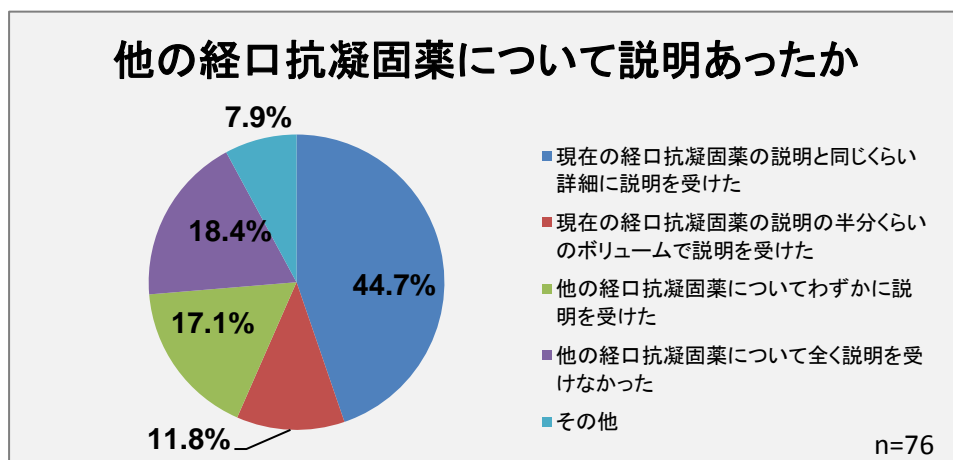
他の経口抗凝固薬について説明あったか(薬剤別)



【Q7】経口抗凝固薬の服用を始めるにあたり、医師から他の経口抗凝固薬についての説明はありましたか。

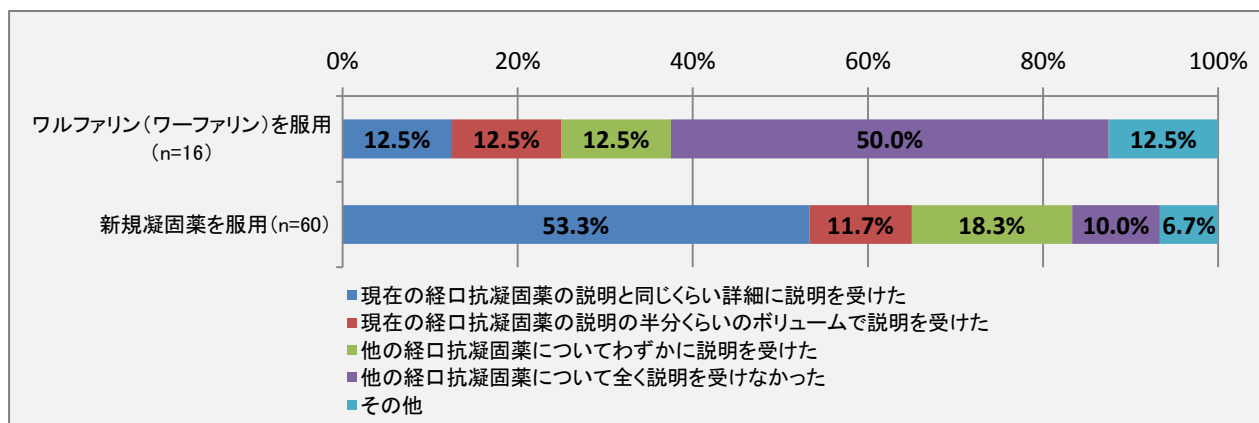
現在の経口抗凝固薬の服用期間が半年～3年未満

	n	%
現在の経口抗凝固薬の説明と同じくらい詳細に説明を受けた	34	44.7%
現在の経口抗凝固薬の説明の半分くらいのボリュームで説明を受けた	9	11.8%
他の経口抗凝固薬についてわずかに説明を受けた	13	17.1%
他の経口抗凝固薬について全く説明を受けなかった	14	18.4%
その他	6	7.9%
総計	76	100.0%



薬剤別（経口抗凝固薬の服用期間が半年～3年未満）

	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=16)	新規経口抗 凝固薬を服 用(n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=16)	新規経口抗 凝固薬を服 用(n=60)	%
現在の経口抗凝固薬の説明と同じくらい詳細に説明を受けた	2	32	34	12.5%	53.3%	44.7%
現在の経口抗凝固薬の説明の半分くらいのボリュームで説明を受けた	2	7	9	12.5%	11.7%	11.8%
他の経口抗凝固薬についてわずかに説明を受けた	2	11	13	12.5%	18.3%	17.1%
他の経口抗凝固薬について全く説明を受けなかった	8	6	14	50.0%	10.0%	18.4%
その他	2	4	6	12.5%	6.7%	7.9%
総計	16	60	76	100.0%	100.0%	100.0%



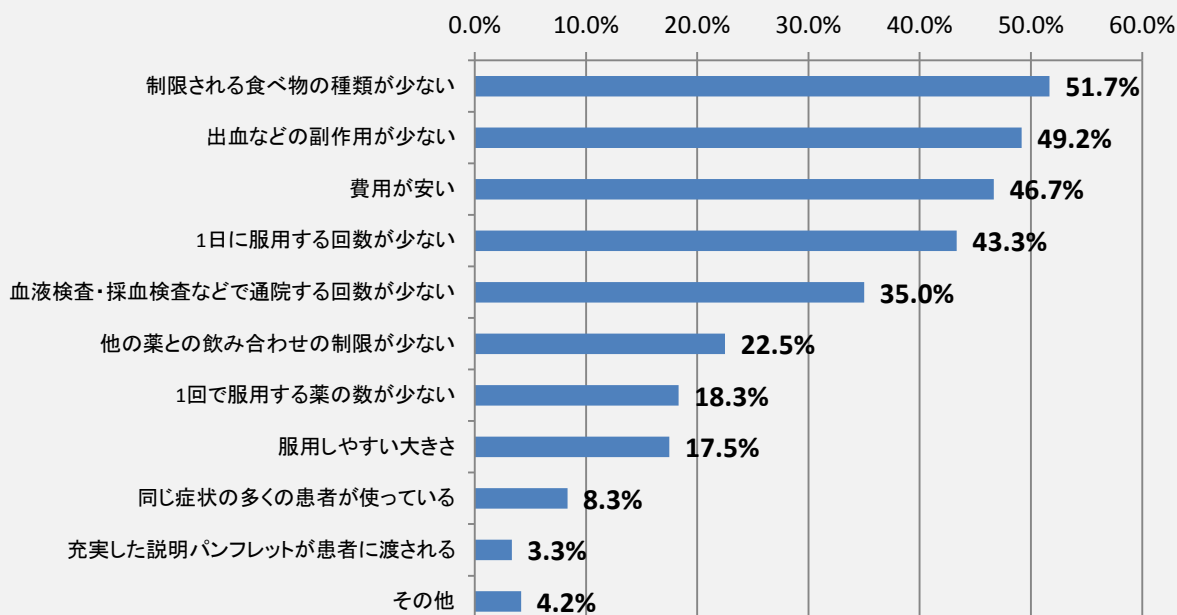
【Q8】経口抗凝固薬がご自身で選択できると仮定して、「薬の効果」以外であなたが重視するものを3つ選んでください。（複数選択）

「制限される食べ物の種類が少ない」が51.7%と最も重視されていることが分かった。次いで「副作用が少ない」（49.2%）、「費用が安い」（46.7%）だった。服用薬剤別には大きな差は見られなかった。

n=120

	n	%
制限される食べ物の種類が少ない	62	51.7%
出血などの副作用が少ない	59	49.2%
費用が安い	56	46.7%
1日に服用する回数が少ない	52	43.3%
血液検査・採血検査などで通院する回数が少ない	42	35.0%
他の薬との飲み合わせの制限が少ない	27	22.5%
1回で服用する薬の数が少ない	22	18.3%
服用しやすい大きさ	21	17.5%
同じ症状の多くの患者が使っている	10	8.3%
充実した説明パンフレットが患者に渡される	4	3.3%
その他	5	4.2%
計	360	300.0%
全体	120	

経口抗凝固薬に薬の効果以外で期待するもの（複数回答3つ）



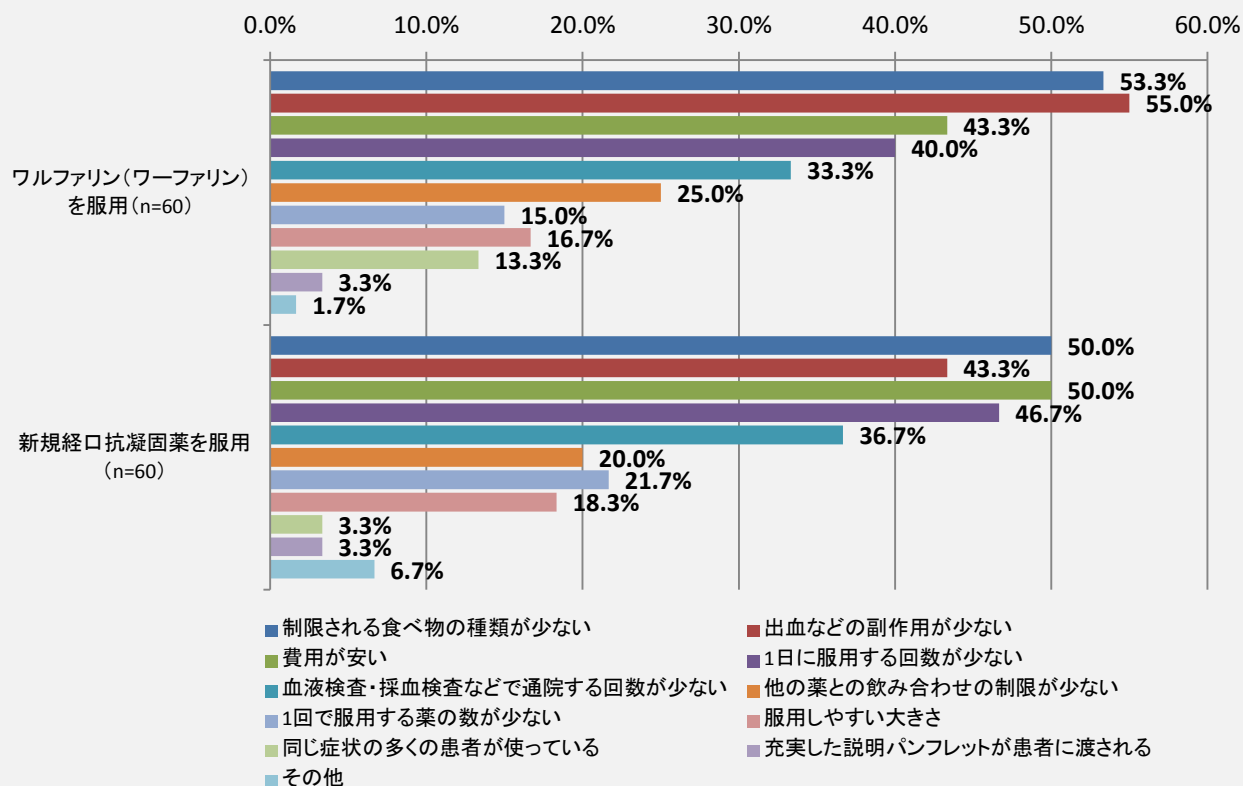
n=120

【Q8】経口抗凝固薬がご自身で選択できると仮定して、「薬の効果」以外であなたが重視するものを3つ選んでください。(複数選択)

薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン) を服用(n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用(n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	%
制限される食べ物の種類が少ない	32	30	62	53.3%	50.0%	51.7%
出血などの副作用が少ない	33	26	59	55.0%	43.3%	49.2%
費用が安い	26	30	56	43.3%	50.0%	46.7%
1日に服用する回数が少ない	24	28	52	40.0%	46.7%	43.3%
血液検査・採血検査などで通院する回数が少ない	20	22	42	33.3%	36.7%	35.0%
他の薬との飲み合わせの制限が少ない	15	12	27	25.0%	20.0%	22.5%
1回で服用する薬の数が少ない	9	13	22	15.0%	21.7%	18.3%
服用しやすい大きさ	10	11	21	16.7%	18.3%	17.5%
同じ症状の多くの患者が使っている	8	2	10	13.3%	3.3%	8.3%
充実した説明パンフレットが患者に渡される	2	2	4	3.3%	3.3%	3.3%
その他	1	4	5	1.7%	6.7%	4.2%
計	180	180	360	300.0%	300.0%	300.0%
全体	60	60	120			

経口抗凝固薬に薬の効果以外で期待するもの(複数回答3つ)



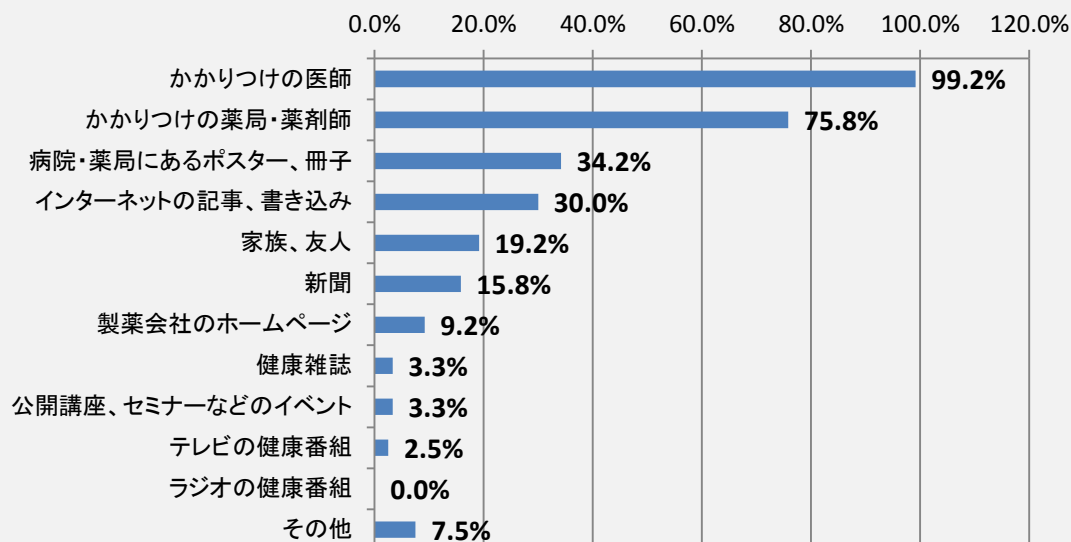
【Q9】ご自身の病気や飲んでいるお薬についての情報を知りたい時、どこからの情報を重視しますか。重視するものを3つ選んでください。(複数選択)

「かかりつけの医師」からの情報を重視する、と回答したのは120人中119人となった。次いで「薬局・薬剤師」が75.8%と医療者からの情報を重視することが分かった。

n=120

	n	%
かかりつけの医師	119	99.2%
かかりつけの薬局・薬剤師	91	75.8%
病院・薬局にあるポスター、冊子	41	34.2%
インターネットの記事、書き込み	36	30.0%
家族、友人	23	19.2%
新聞	19	15.8%
製薬会社のホームページ	11	9.2%
健康雑誌	4	3.3%
公開講座、セミナーなどのイベント	4	3.3%
テレビの健康番組	3	2.5%
ラジオの健康番組	0	0.0%
その他	9	7.5%
計	360	300.0%
全体	120	

どこからの情報を重視するか(複数回答3つ)



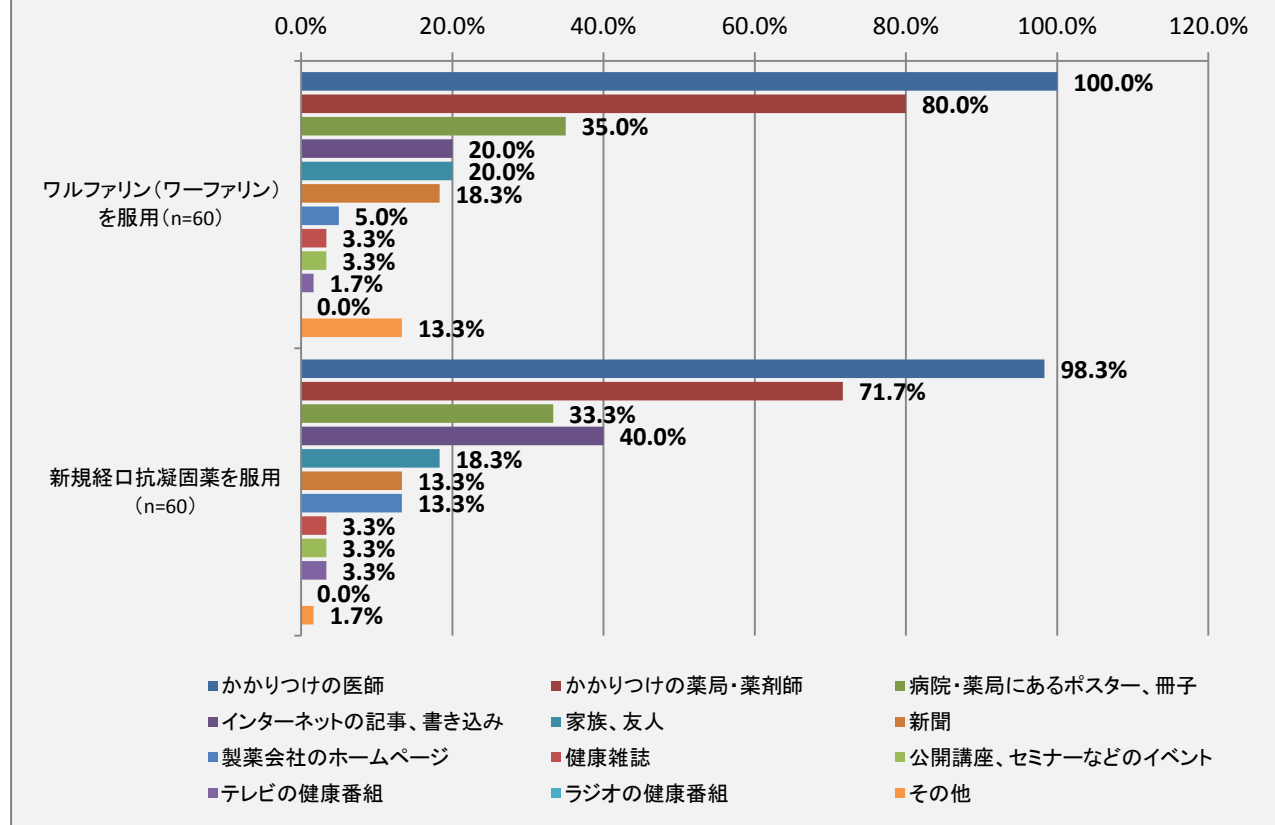
n=120

【Q9】ご自身の病気や飲んでいるお薬についての情報を知りたい時、どこからの情報を重視しますか。重視するものを3つ選んでください。(複数選択)

薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン) を服用(n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用(n=60)	新規経口抗凝 固薬を服用 (n=60)	%
かかりつけの医師	60	59	119	100.0%	98.3%	99.2%
かかりつけの薬局・薬剤師	48	43	91	80.0%	71.7%	75.8%
病院・薬局にあるポスター、冊子	21	20	41	35.0%	33.3%	34.2%
インターネットの記事、書き込み	12	24	36	20.0%	40.0%	30.0%
家族、友人	12	11	23	20.0%	18.3%	19.2%
新聞	11	8	19	18.3%	13.3%	15.8%
製薬会社のホームページ	3	8	11	5.0%	13.3%	9.2%
健康雑誌	2	2	4	3.3%	3.3%	3.3%
公開講座、セミナーなどのイベント	2	2	4	3.3%	3.3%	3.3%
テレビの健康番組	1	2	3	1.7%	3.3%	2.5%
ラジオの健康番組	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8	1	9	13.3%	1.7%	7.5%
計	180	180	360	300.0%	300.0%	300.0%
全体	60	60	120			

どこからの情報を重視するか(複数回答3つ)

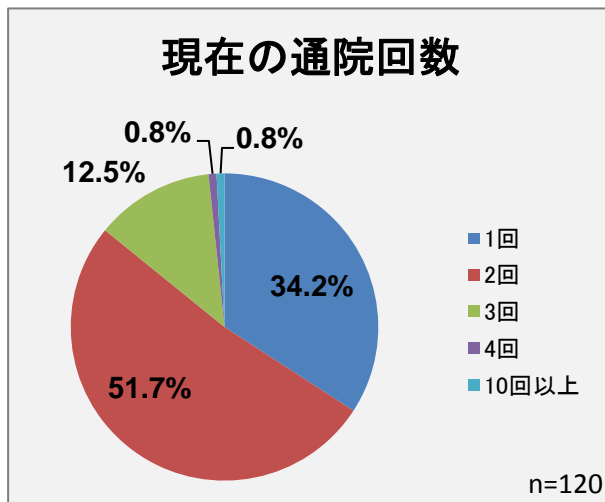


【Q10】現在、治療のために1か月に何回通院していますか。

「月2回」と回答した患者が最も多く51.7%だった。次いで「月1回」が34.2%、「月3回」が12.5%だった。ワルファリンと新規経口抗凝固薬との比較では、新規経口抗凝固薬服用患者の方が月あたりの通院回数が多くなる傾向にあることが分かった。

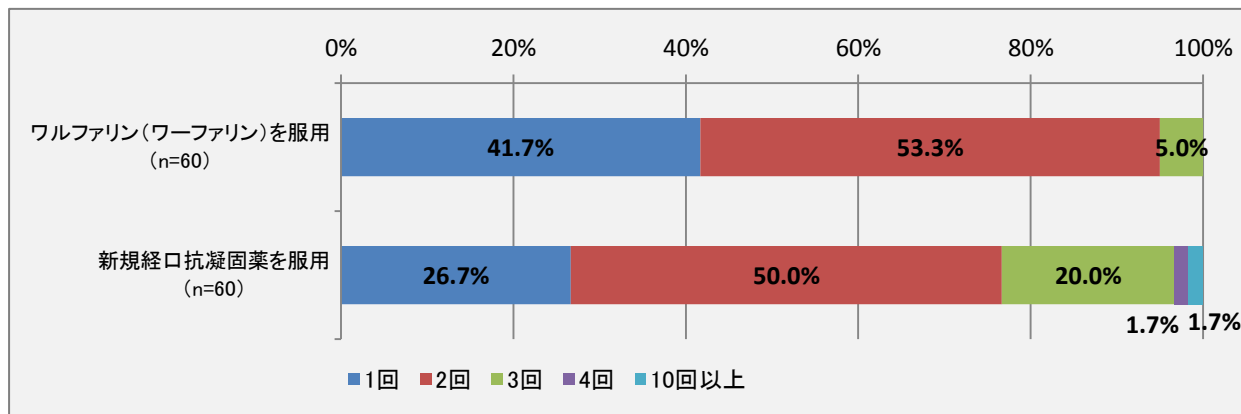
n=120

	n	%
1回	41	34.2%
2回	62	51.7%
3回	15	12.5%
4回	1	0.8%
10回以上	1	0.8%
総計	120	100.0%



薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口 抗凝固薬を 服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口 抗凝固薬を 服用 (n=60)	%
1回	25	16	41	41.7%	26.7%	34.2%
2回	32	30	62	53.3%	50.0%	51.7%
3回	3	12	15	5.0%	20.0%	12.5%
4回	0	1	1	0.0%	1.7%	0.8%
10回以上	0	1	1	0.0%	1.7%	0.8%
総計	60	60	120	100.0%	100.0%	100.0%

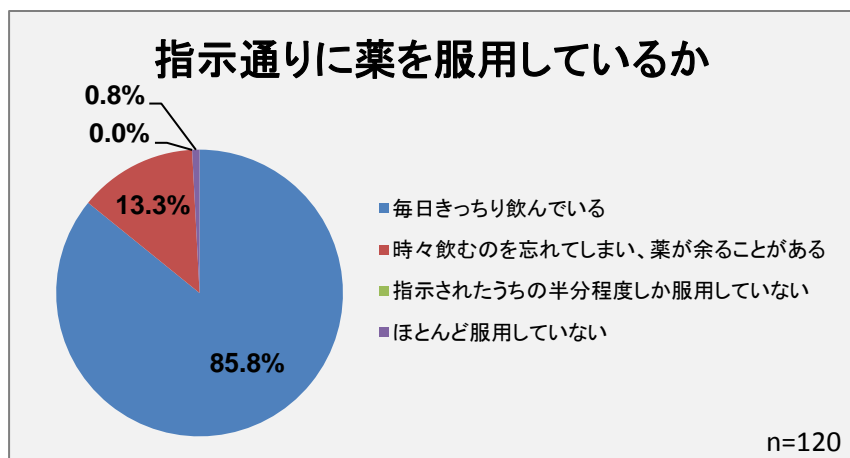


【Q11】毎日、医師や薬剤師の指示通りに薬を服用していますか。

85.8%が「毎日きっちり飲んでいる」と回答した。「時々飲むのを忘れてしまう」のは13.3%と、ワルファリンと新規経口抗凝固薬には違いは見られなかった。

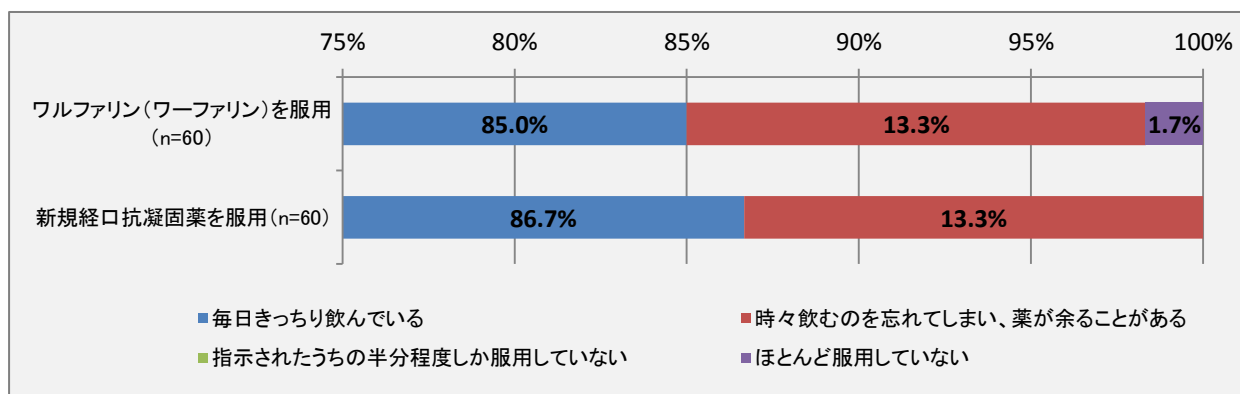
n=120

	n	%
毎日きっちり飲んでいる	103	85.8%
時々飲むのを忘れてしまい、薬が余ることがある	16	13.3%
指示されたうちの半分程度しか服用していない	0	0.0%
ほとんど服用していない	1	0.8%
総計	120	100.0%



薬剤別

	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口 抗凝固薬 を服用 (n=60)	n	ワルファリン (ワーファリン) を服用 (n=60)	新規経口 抗凝固薬 を服用 (n=60)	%
毎日きっちり飲んでいる	51	52	103	85.0%	86.7%	85.8%
時々飲むのを忘れてしまい、薬が余ることがある	8	8	16	13.3%	13.3%	13.3%
指示されたうちの半分程度しか服用していない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
ほとんど服用していない	1	0	1	1.7%	0.0%	0.8%
総計	60	60	120	100.0%	100.0%	100.0%



**【Q12】(Q12で「時々飲むのを忘れてしまい、薬が余ることがある」「ほとんど服用していない」の回答者対象)
毎日服用できていない理由を、詳細にお教えてください。**

毎日服用できていない理由について、外泊や外出などで夜のむ分をうっかり忘れてしまう、という回答が見られた。

以下に回答の一部を記載する。

- ・忘れて夜飲まないことが多い(男性・50代・ワーファリン服用)
- ・出張や当直のときにたまに持って行くのを忘れる(男性・50代・ワーファリン服用)
- ・単なる飲み忘れと食事の時間が不定期で忘れてしまう(男性・60代・ワーファリン服用)
- ・夜の分を飲み忘れる(男性・60代・ワーファリン服用)

- ・外食、外泊時(男性・50代・新規経口抗凝固薬服用)
- ・食後時間が無くまれに飲み忘れる(男性・50代・新規経口抗凝固薬服用)
- ・飲んだ時に忘れる(男性・50代・新規経口抗凝固薬服用)
- ・会合などで外で飲食したとき飲み忘れることがある(男性・50代・新規経口抗凝固薬服用)

本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 田中 智貴
TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-16-5 さいとうビル4F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>
